

一般質問



令和 2 年 7 月豪雨災害

問 市民への災害・防災情報の伝達方法として、LINEでの情報発信に対する考えを聞きたい。

答 大変有効な手段であるため、他都市の先行事例も参考に実施し、効果も検証しながら、さらなる充実を図りたい。

問 ペットの同伴・同行避難要望が多いが、課題と対策は。

答 関係団体と意見交換しながら、今後、検討していく。

新型コロナウイルス感染症

問 かかりつけ医によるPCR検査に対する市の見解は。

答 体制整備については、福岡県と医師会・医療機関との

協議を注視し、市民の円滑な受診・検査のために必要な情報を把握し、周知を図りたい。

問 コロナ禍における地元企業への新卒者の就職促進が不可欠だと思うが、市の考えは。

答 学校や関係機関と情報交換し、地元企業への就職促進につながる事業を検討したい。

問 感染者に対する人権への配慮を、保護者や児童生徒にも改めて伝えるべきでは。

答 各学校で正しい理解と、偏見や差別防止の取組等を行っており、今後も指導したい。



豪雨災害の教訓と課題解決

問 豪雨災害の課題解決に向けた今後の取組については。

答 課題として、市内の至るところで冠水や浸水が発生し、

状況把握に時間を要したこと、避難広報が十分に届かなかったこと、備蓄物資が十分でなかったことなどがある。

まずは、備蓄物資の確保等に取り組み、7月豪雨の検証委員会の提言も参考にしたい。

再発言 市内の社会資本は高度経済成長期に整備されたものが多いことから、しっかりと点検・整備をすることが行政の責任である。

また、浸水被害を抑えるため、水路や側溝の計画的な浚渫・メンテナンスを要望する。

教育現場での新型コロナウイルス感染症対策

問 小・中・特別支援学校での新型コロナウイルス対策について聞きたい。

答 児童生徒の安心安全を第一に感染症対策を徹底し、新しい生活様式を基に、3密回避、手洗い、マスク着用を基本とし、教室では一定の距離を確保している。また、マスク、アルコール消毒液、非接触型体温計、換気や熱中症対策の大型扇風機等も配付した。



令和 2 年 7 月豪雨災害の復旧・復興

問 今後、生活再建を図っていく上でどのような支援があり、何が対象になるか示す必要があり、また、支援内容が

複数課にまたがることから、被災者のための総合窓口が必要であると思うが。

答 できる限り被災者の負担軽減となるようワンストップサービスに取り組む。

問 当初、本市にはみなし仮設住宅は設置されなかったが現在は対象となる場合は内閣府との協議を経て、みなし仮設として原則2年の取扱いになることで間違いはないか。

答 一時提供で入居していても整理ができた方は随時、みなし仮設住宅の対応となる。

問 幼稚園や保育所等では277人が取り残されている。園ごとに送迎の違いなどあるが、緊急時や災害時の共通マニュアルが必要で保護者に理解しておいてもらうべきと思うが。

答 園児の安全確保等の対策は市と連携しながら施設が行ったが、今後できるだけ早い対応が取れる対策を講じることが重要と考える。

再発言 子どもたちの安心・安全が守られるよう保護者や学校、施設との連携、マニュアルの策定・見直しを求める。